

<組入れ上位10銘柄> 銘柄総数：46

	銘柄	ケホソ%	償還日	分類	通貨	格付	利回り%	構成比%
1	イタリア国債	4.500	2020/2/1	国債	ユーロ	A+	5.93	12.20
2	イタリア国債	3.750	2016/4/15	国債	ユーロ	A+	5.48	9.35
3	米国国債	3.375	2019/11/15	国債	米ドル	AAA	1.93	8.67
4	ポーランド国債	5.750	2022/9/23	国債	ポーランドズロチ	A	5.62	6.08
5	ベルギー国債	3.750	2015/9/28	国債	ユーロ	AA+	3.29	4.99
6	米国国債	1.000	2016/10/31	国債	米ドル	AAA	1.12	4.90
7	イタリア国債	4.250	2013/8/1	国債	ユーロ	A+	4.66	4.21
8	オランダ国債	5.000	2012/7/15	国債	ユーロ	AAA	0.56	4.14
9	FNMA 30YR NOV FWD	5.000	2041/11/1	政府系機関固定金利MBS	米ドル	AAA	2.54	3.53
10	ドイツ国債	4.750	2040/7/4	国債	ユーロ	AAA	2.94	2.85

<通貨別内訳>

	デレション (年)	為替 (%)
ユーロ	5.75	92.33%
米ドル	-1.22	5.20%
ポーランドズロチ	0.50	4.31%
カナダドル	0.00	4.25%
メキシコペソ	0.03	1.51%
スウェーデンクローナ	0.00	1.08%
デンマーククローネ	0.00	0.01%
豪ドル	0.00	0.00%
ノルウェークローネ	0.00	-0.08%
ハンガリーフォリント	0.00	-1.01%
英ポンド	-0.03	-1.57%
日本円	0.00	-6.03%

* 為替(%)は、基本ポートフォリオ(ユーロ)に
通貨戦略を反映させたポジション

<運用担当者のコメント>

- ・ 米国債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。上旬は、欧州債務問題の深刻化を背景に、利回りは低下して始まりました。しかし、その後は、雇用統計が予想を上回り、米景気の先行き懸念が後退したことから、利回りは上昇に転じました。中旬から下旬にかけては、予想を上回る米経済指標が相次いだことに加え、欧州債務問題の改善期待が膨らんだことから、株式相場が上昇する中、利回りは上昇基調を迎える展開となりました。
- ・ 欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。上旬は、ギリシャの債務不履行（デフォルト）懸念が再燃したことから、利回りは低下して始まりました。その後は、欧州当局が銀行の資本増強に向けて協調措置を打ち出すとの期待が広がり、利回りは上昇に転じました。中旬は、独仏首脳が域内金融機関の資本増強に前向きな姿勢を示し、欧州の債務不安が後退したため、利回りは上昇しました。下旬は、欧州債務問題の解決期待を背景に、利回りは上昇基調で推移しました。
- ・ 日本債券市場は、利回りが若干上昇（価格は下落）しました。上旬は、欧州債務問題の早期解決は困難と見方から債券買いが優勢となり、利回りは低下しました。中旬は、欧州債務問題に対する過度に悲観的な見方が後退したことから、利回りは小幅に上昇しました。下旬は、欧州連合（EU）が債務問題の解決に向けた包括戦略で合意し、株高となったことから、債券を売る動きが優勢となり、利回りは上昇しました。
- ・ 為替市場では、米ドル・円相場は米ドル高・円安となりました。欧州債務問題の取り組み進展期待から、米ドルは対ユーロで売られ、円に対しても一時下落しました。ただし、月末には日本政府・日銀による米ドル買い・円売り介入により、米ドルは対円で急反発しました。ユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。欧州連合（EU）による債務危機克服に向けた包括案合意等を受けて、欧州債務問題の改善期待が膨らんだことから、ユーロは対円で大きく上昇しました。
- ・ 10月の当ファンドのパフォーマンスはプラス7.25%、基準価格は前月末比で495円上昇しました。当月も安定した利金収入を獲得したほか、為替市場でユーロ高・円安が進んだことなどが、基準価額のプラス要因となりました。

●当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

当ファンドについてのご注意事項

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なり、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。

為替変動リスク(円高になると、基準価額が下がるリスク)

一般的に外国為替相場が円高となった場合には、当ファンドが保有する外貨建資産に為替差損(円換算した評価額が減少すること)が発生することにより、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

金利変動リスク(金利が上がると、基準価額が下がるリスク)

一般的に債券の価格は、金利が上昇した場合には下落し、金利が低下した場合には上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク(信用・格付が下がると、基準価額が下がるリスク)

一般的に公社債、コマーシャル・ペーパーおよび短期金融商品のデフォルト(元利金支払いの不履行または遅延)、発行会社の倒産や財務状況の悪化およびこれらに関する外部評価の変化等があった場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

デリバティブ活用のリスク

当ファンドの運用においては、デリバティブ(金融派生商品)を活用することがあります。デリバティブの価格は、市場動向や環境変化によって変動します。そのため、デリバティブの価格変動が基準価額の変動に影響を与える可能性があります。

(注)基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 収益分配金は分配方針に基づいて毎決算時に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わないことがあります。
- 収益分配金は当ファンドの信託財産から支払われるため、収益分配により信託財産の純資産総額が減少し、基準価額が下落する原因となります。
- 収益分配金は、計算期間中に発生した費用控除後の収益を超えて支払われる場合があります。このため、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中の収益率を示すものではなく、投資者の購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には投資元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

●当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお読みいただきますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

お申込みメモ

ファンド名	LM・ユーロ・アルファ ポートフォリオA（為替ヘッジなし）
購入単位	新規にお申込みの場合 50万円以上1円単位 追加でお申込みの場合 1万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	一口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込受付分とします。
購入・換金の申込受付不可日	ロンドンの銀行の休業日の場合には、購入・換金申込は受けません。
スイッチング	「ポートフォリオA」と「ポートフォリオB」の間で、無手数料でスイッチングができます。 申込単位は、1万円以上1円単位（保有するファンドのすべてをもって行う場合は、1円以上1円単位）とします。
信託期間	無期限（平成11年2月19日設定）
決算日	3月、6月、9月、12月の各18日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配方針に基づき分配を行います。 分配金は、自動けいぞく投資約款に基づき再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除および益金不算入の適用はありません。 ※税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	申込金額（購入申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 手数料率の上限は、1.05%（税抜1.00%）となっております。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対し年1.365%（税抜1.300%）
その他の費用・手数料	組入価証券の売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託財産に関する租税、信託事務等に要する諸費用（監査費用、印刷等費用、受益権の管理事務費用等。）等を信託財産から支払います。 信託事務等に要する諸費用は毎日計上され毎決算時または償還時に、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額の合計額を上限として委託会社が算出する金額が、その他については原則として発生時に実費が、信託財産から支払われます。 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 （注）投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することが出来ません。

購入申込取扱場所 取扱販売会社までお問合せください。

●当資料は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。●投資信託説明書（交付目論見書）は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

委託会社、その他の関係法人の概況

委託会社	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（信託財産の運用指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号 加入協会：社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会
投資顧問会社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー（在 米国） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（在 英国） （委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、当ファンドの運用指図を行います。）
受託会社	野村信託銀行株式会社（信託財産の保管・管理業務等を行います。）
取扱販売会社	SMBC日興証券株式会社 （募集の取扱い、一部解約実行の請求の受付、収益分配金の再投資、収益分配金・償還金・一部解約金の支払い等を行います。） 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長(金商)第2251号 加入金融商品取引業協会：日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
取扱販売会社の照会先	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 http://www.leggmason.co.jp (03)5219-5943

●当資料は、レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。